

# かけはし

川崎市立向丘小学校  
学校便り5月号  
R8.4.30

## 子どもたちの力は無限大

校長 秋山 直子

初夏を思わせるような陽気が続き、半袖で登校する子どもたちも増えてきました。早いもので、入学式、始業式から4週間がたちました。新しい学級や学年にも徐々に慣れ、真剣に学習に取り組む姿や、友達と楽しそうに遊ぶ姿が見られています。

一昨日、6年生と一緒に社会科見学に行ってきました。4月初めから、新年度準備や児童会活動など、様々な場所で活躍している6年生。校外でも時間や約束を守って活動する頼もしい姿が見られました。

昼食をとるために立ち寄った皇居外苑、北の丸公園に入ったときのことで。それまでまっすぐ歩いていた子どもたちが、突然ひょこひょここと細かく水たまりを避けるような歩き方をしだしたのです。その日は天気もよく、当然水たまりなどはありませんでした。不思議に思って歩を進め、なるほど、と納得しました。地面にシロツメクサの花が咲いており、それを避けて歩いていたのです。友だちと話しながらも、花を踏まないように自然に体が動いていた6年生を見て、なんて優しい子たちなんだろう、すてきななあ、と心がほっこりあたたかくなりました。これまでたくさんの人や動植物と向き合ってきた経験や育ってきた環境（向丘のまち）が、心のなかにしっかり根を張っているんだなあ、と感じました。

さて、5月21日（木）から2週間ほどの期間を、二十四節気では「小満」というそうです。諸説あるかとは思いますが、麦などの作物に穂が付き、農家さんがほっと一安心して「少し満足」したことからの言葉になったと言われています。

ところで、「小満」に対して、「満満」はあまり良いことではないという考え方があります。満月になったらあとは欠けるだけ、大吉を引くとそれ以上運気が上がることはない・・・といった考え方です。

でも、室内では天井で止まってしまう風船も、外に出ればどこまでも高く飛んでいきます。シロツメクサを避けて歩く子どもたちの優しさには、ここまでという天井はありません。子どもたちの可能性は無限大。これから、様々なことを吸収し、どこまでもぐんぐん成長していける環境を、私達大人がつくってあげたいと心から思います。

5月は連休や気温の変化もあり、新年度の疲れが出やすい時期です。ご家庭でも体調管理等のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



もちろん、大人だって、いくつになっても可能性は無限大！子どもたちに負けないように頑張るぞ～！